

CITY OF YOKOHAMA

企業版ふるさと納税地域別マッチング会 in 神奈川県

横浜市 企業版ふるさと納税のご案内

政策局 政策部 財源確保推進課
企業版ふるさと納税担当

2024年2月21日

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER



- 戦略1** すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
例：妊娠・出産・子育て支援、児童虐待防止、学校教育の向上 等
- 戦略2** 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
例：介護・医療やスポーツ環境の充実、多文化共生の推進 等
- 戦略3** Zero Carbon Yokohamaの実現
例：カーボンニュートラルの実現、資源循環の推進 等
- 戦略4** 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現
例：事業者支援、観光・MICE都市の実現、国際連携の強化 等
- 戦略5** 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり
例：自然環境を生かした住環境の維持、地域交通の実現 等
- 戦略6** 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり
例：業務・商業機能の更なる集積、文化芸術創造都市の推進 等
- 戦略7** 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現
例：自然豊かな都市環境の実現、生物多様性の保全・利活用 等
- 戦略8** 災害に強い安全・安心な都市づくり
例：大規模地震・風水害への対策、地域防災力の向上 等
- 戦略9** 市民生活と経済活動を支える都市づくり
例：交通ネットワーク・港湾等の整備、公共施設の保全更新 等

この基本戦略の推進にかかる全ての事業が、
横浜市の企業版ふるさと納税の対象事業となります。

■主な寄附募集プロジェクトのご紹介

- ・子育て支援
- ・観光・交流、文化・芸術
- ・経済振興・人材育成
- ・GX（グリーントランスフォーメーション）
- ・公民連携・共創

■〔注目事業〕横浜トリエンナーレ事業のご紹介

■横浜市 独自の特典

子育て支援



社会的な意義・ビジョン：「次世代の担い手を安全・安心に育む未来」

1 保育所等整備事業



保育所等での安全な保育環境の確保や待機児童の解消に繋げるため、開園後一定年数が経過した**保育所等の設備等に対する改修費補助**に活用します。

【担当】 こども青少年局こども施設整備課

2 **NEW** 親と子のつどいの広場事業、地域子育て支援拠点事業



地域全体の子育て環境の向上のため、新たに整備（拡充）予定の**親と子のつどいの広場**および、**地域子育て支援拠点サテライトの整備費**に活用します。

NEW：6年度からの新たな取組

【担当】 こども青少年局地域子育て支援課

観光・交流、文化・芸術



社会的な意義・ビジョン：

「まちの賑わいとともにより豊かな社会が形成される未来」

3 横浜トリエンナーレ事業



ニック・ケイヴ《回転する森》2016（2020年再制作）
(c)Nick Cave ヨコハマトリエンナーレ2020展示風景
撮影：大塚敬太写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会

我が国を代表する現代アート国際展において、ファミリー層や将来を担う子どもたちが気軽にアートに触れる機会の提供や都心臨海部の回遊しながら楽しめる取組等に活用します。

※こちらのプロジェクトについては、後ほど詳しく説明します。

【担当】にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課

4 アーツコミッション事業



文化芸術活動を行う方や企業、市民等の様々な主体をつなぐプラットフォームとして、相談窓口の運営や、活動助成、情報発信等に活用します。

【担当】にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課

経済振興・人材育成



社会的な意義・ビジョン：「新たなビジネス・起業家が溢れる未来」

5 イノベーション人材育成事業



社会課題の解決に資するビジネスを生み出す環境をつくるため、**大学・企業と連携したイノベーションを担う人材の育成プログラム、小中高生を対象とした次世代起業家教育等**に活用します。

【担当】経済局新産業創造課

GX (グリーン・トランスフォーメーション)



社会的な意義・ビジョン：「自然とともにある未来」

6 国際園芸博覧会推進事業



花と緑のあふれる暮らし、持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決に貢献する、「**GREEN × EXPO 2027**」(2027年国際園芸博覧会)の推進に向けた取組に活用します。

【担当】都市整備局国際園芸博覧会推進課

公民連携・共創



社会的な意義・ビジョン：

「誰一人として取り残さない持続可能な未来」

7 横浜版地域循環型経済（サーキュラーエコノミーplus）の推進



一般社団法人YOKOHAMAリビングラボサポートオフィスが提唱するサーキュラー・エコノミーplusの概念図

行政が民間の皆様とともに、それぞれの人材、資源、サービス、財源を活用することで**社会課題を解決する「横浜版地域循環型経済※1」の取組の推進※2**に活用します。

※1 資源・製品の循環に限らず、「ひと」のエンパワーメントと「まち」の持続可能性にも着目し、それらを総合的に推進するための社会経済モデルの構築を目指す考え方。

※2 事例) ・企業等、民間の皆様が抱える社会的な課題・ニーズと、市事業とのマッチング強化
・リビングラボ等、市内で地域課題の解決に向けた活動をしている団体の支援 等

【担当】政策局共創推進課

本日ご紹介した横浜市の主なプロジェクトの詳細については、
[『横浜市企業版ふるさと納税ウェブサイト』](#)をご覧ください。

横浜で3年に1度行われる現代アートの国際展で、2001年から継続して20年以上続くイベントです。

世界の各地域から話題のアーティストや新進のアーティストたちが参加し、みなとみらいを中心とする横浜都心臨海部を舞台に作品を展示したり、パフォーマンスを繰り広げるなど、世界最新の現代アートを披露します。2001年にスタートし、現在“横トリ”の愛称で親しまれています。

チェ・ジョンファ
《フルーツ・ツリー》2001年撮影：加藤健
写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会



エルムグリーン&ドラッグセット
《落っこちたら受けとめて》2008
撮影：櫻井ただひさ写真提供：横
浜トリエンナーレ組織委員会



ダニエル・ビュラン《海辺の16, 150の光彩》横浜、
日本、2005年9月 © DB - ADAGP Paris
撮影：安齋重男
写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会



横浜トリエンナーレの使命

横浜トリエンナーレは、我が国を代表する現代アートの国際展として、文化芸術創造都市・横浜の発展をリードするとともに、**「多様性を受け入れる心豊かな社会の形成」**に寄与します。

高い発信力

- ・ **日本最大級の国際展として、国内外への高い露出効果**が期待できます。

【前回展実績(2020年)】 ※感染防止のため入場制限を実施

報道実績 : **5,095件(NYタイムスなどへ掲載)**

効果額 : **50.9億円** 総来場者数 : **約15万人**

次世代やSDGsを意識した取組

- ・ 子育てファミリー世代や学生などの次世代層を中心に、**「誰もが」気軽にアートを体験する機会を提供**します。
- ・ 横浜市のSDGs認証制度Y-SDGsへ参画し、**国際展を通じてSDGsの達成に貢献**します。



寄附メリット

社名テキスト掲載 ※公表をご承諾いただいた企業様のみ掲載	横浜市ウェブサイトでのご紹介、プレスキット、公式カタログ、公式記録集
社名ロゴ掲載 ※寄附金額に応じたサイズのロゴを掲載	横浜トリエンナーレ公式Webサイトへの掲載
市長名での感謝状贈呈など	感謝状、記録集、公式カタログ

➡ **ブランドイメージの向上**に寄与します。

SDGs、地方創生（文化芸術施策への支援）への貢献
※その他 企業様のブランドイメージ向上に寄与できる取組を検討中

第8回横浜トリエンナーレ開催概要

野草：いま、ここで生きてる / Wild Grass: Our Lives

【主催】横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

【会期】令和6年3月15日（金）～令和6年6月9日（日） 10時～18時

【主会場】横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO (KITANAKA BRICK & WHITE 1F)



(top left) Yokohama Museum of Art
 (top right) Former Daiichi Bank Yokohama Branch
 (bottom right) BankART KAIKO (Photo: OHNO Ryusuke)



【凡例】
 ■ 横浜トリエンナーレ会場
 ■ 関連プログラム会場

○寄附金につきましては、**第8回横浜トリエンナーレのプログラム充実に使用されます。**

- ・ **日本最大級**で歴史ある現代アートの国際展のとして、横浜市内のみならず**全国のアート愛好家が来場**します。
- ・ アート専門誌を中心に、**海外からも注目度の高い展覧会**として発信力をもっています。

横浜市の主な寄附募集プロジェクト

本日ご紹介した事業以外でも、横浜市 企業版ふるさと納税の対象となる事業は幅広くあります。

個別相談会・名刺交換会

この後に実施される本会の個別相談会・名刺交換会にて、各事業のご紹介や本市への寄附メリット等のご案内を行っています。また、その他ご興味のある事業・分野がありましたら、寄附受入に向けて調整させていただきますので、お気軽にお立ち寄りください。

寄附受入に向けて調整させていただきます！



▲ 横浜市企業版ふるさと納税リーフレット

本会のアーカイブ（動画やプレゼン資料）をご覧の皆様へ

ご寄附にかかるご相談は随時受け付けていますので、貴社のご意向や希望する分野・プロジェクト等ありましたら、お話を聞かせただけですと幸いです。

【担当】 政策局 財源確保推進課 企業版ふるさと納税担当
電話：045-671-4809 ファクス：045-663-4613
E-mail：ss-zaigen@city.yokohama.jp

横浜市独自の特典

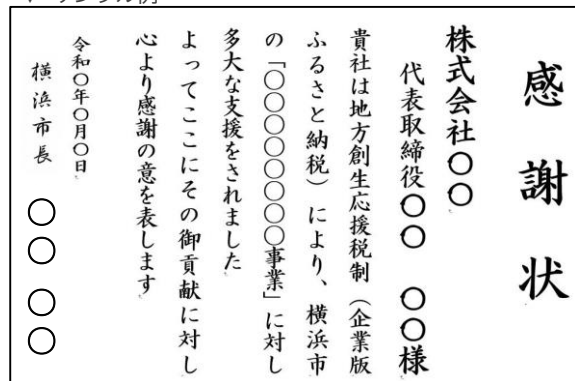
市ウェブサイトで企業情報の掲載

企業ホームページへのリンクや企業ロゴご寄附に対するメッセージなどを掲載させていただきます。

市長名の感謝状贈呈

本市からの謝意を込めて、感謝状をご用意させていただきます。

▼ サンプル例



▼ ウェブサイト掲載事例



※ その他、各寄附募集事業にて個別特典のご用意しているものもありますので、お気軽にお問い合わせください。

ご清聴ありがとうございました。

本市の取り組みについて、貴社のご意向等に沿うものがありましたら是非、企業版ふるさと納税を通じて

「明日をひらく都市」を共に目指すパートナー

となっていただくことについて、ご検討いただけましたら幸いです。

横浜市 政策局 財源確保推進課

電話：045-671-4809

E-mail：ss-zaigen@city.yokohama.jp

横浜市企業版ふるさと納税ウェブサイト ▶



<各プロジェクトの所管部署 連絡先一覧>

■保育所等整備事業

こども青少年局 こども施設整備課

電話：045-671-4146 ファクス：045-550-3607 E-mail：kd-koseibi@city.yokohama.jp

■親と子のつどいの広場事業、地域子育て支援拠点事業

こども青少年局 地域子育て支援課

電話：045-671-4157 ファクス：045-550-3946 E-mail：kd-chikoshien@city.yokohama.jp

■横浜トリエンナーレ事業、アーツコミッション事業

にぎわいスポーツ文化局 創造都市推進課

電話：045-671-2278 ファクス：045-663-5606 E-mail：nw-tri@city.yokohama.jp

■イノベーション人材育成事業

経済局 新産業創造課

電話：045-671-3487 ファクス：045-664-4867 E-mail：ke-shinsangyo@city.yokohama.jp

■国際園芸博覧会推進事業

都市整備局 国際園芸博覧会推進課

電話：045-671-4627 ファクス：045-212-1223 E-mail：tb-engeihaku@city.yokohama.jp

■横浜版地域循環型経済（サーキュラーエコノミーplus）の推進

政策局 共創推進課

電話：045-671-4391 ファクス：045-664-3501 E-mail：ss-kyoso@city.yokohama.jp